

「平成31年度 全国学力・学習状況調査について」

4月に6年生が行った全国学力・学習状況調査の結果がまとまりましたので概要をお伝えします。調査結果をもとに、今後も児童一人ひとりの力を伸ばすことができるように取り組んでまいります。

教科の状況調査結果

【国語】	区分	対象 問題数	平均正答率(%)		
			本校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
全体		14	63	61	63.8
学習指導要領 の領域等	話すこと・聞くこと	3	75.0	69.1	72.3
	書くこと	3	53.2	52.7	54.5
	読むこと	3	82.7	80.3	81.7
	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項	5	49.9	49.2	53.5

○「話すこと・聞くこと」「読むこと」は、神奈川県および全国の平均を上回りました。特に「話すこと・聞くこと」の正答率は神奈川県平均を約6ポイント上回っています。

【算数】	区分	対象 問題数	平均正答率(%)		
			本校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
全体		14	69	67	66.6
学習指導要領 の領域	数と計算	7	65.6	63.3	63.2
	量と測定	3	55.1	54.1	52.9
	図形	2	81.7	76.6	76.7
	数量関係	7	69.1	68.7	68.3

○全ての領域で神奈川県および全国の平均を上回りました。特に、「図形」の正答率は神奈川県および全国の平均を約5ポイント上回り、80%を超えています。

児童質問紙 回答結果

- 学習への関心意欲等については、主に算数について「好き」や「授業の内容がよくわかる」などのよい結果が出ていました。学力調査の正答率につながっているといえます。
- 「国語が好きですか」という質問は「好き」が17%と全国平均を10ポイント近く下回っています。自分の考えを伝えたり工夫したりすることについても、低い結果が出ています。
- 地域行事やボランティアに参加している児童が多いという結果でした。地域と関わりながら育てている様子が表れています。

まとめ

教科の結果では概ね県や全国の平均と同等の水準だったといえます。質問紙の結果では、「自分は人の役に立っている」という自己有用感や、「自分には良いところがある」という自己肯定感をより高める必要性がうかがえました。子どもが主体的に学び、他者と協働的に取り組む姿をめざして、本校では今年度の生活科・総合的な学習の時間校内重点研究にも取り組んでいます。今後も、子ども達一人一人が自分らしく力をさらに発揮していけるよう、支援して参ります。